

「第 22 回 西宮市都市交通会議 全体会議」会議録

日 時：令和 3 年 3 月 29 日(月) 14：00～15：30

場 所：西宮市役所本庁 8 階 813 会議室

議 題：

1. 開会

2. 議事

議案第 1 号 西宮市都市交通計画の策定について

議案第 2 号 令和 3 年度西宮市都市交通会議の事業計画及び当初予算について

議案第 3 号 生瀬地区コミュニティ交通に係る事業計画の変更等について

報告第 1 号 令和 2 年度さくらやまなみバス事業について

報告第 2 号 阪急阪神HDによる西宮市域における都市型M a a S の実証実験について

3. 閉会

○委員出席者

役職名	氏 名	所 属 名	代理出席者
会長	石井 登志郎	西宮市長	都市計画部長 上野 史雄
議長	土井 勉	一般社団法人グローバル交流推進機構 理事長	
副議長	松村 暢彦	愛媛大学 社会共創学部 教授	
監事	柴原 祐子	公募委員	
監事	芦田 渉	兵庫県 阪神南県民センター 西宮土木事務所 所長補佐（企画調整担当）	
委員	松田 健輔	公募委員	
	久保田 泰正	西宮コミュニティ協会 副理事長	
	義浦 慶子	有識者（コンサルタント）	
	早川 泰正	西日本旅客鉄道株式会社 近畿統括本部 企画課 課長	
	奥野 雅弘	阪急電鉄株式会社 都市交通事業本部 交通プロジェクト推進部 部長	調査役 蓬郷 裕之
	原田 大	阪神電気鉄道株式会社 都市交通事業本部 工務部 部長	
	野津 俊明	阪急バス株式会社 自動車事業部 部長	
	岡 伸治	阪神バス株式会社 経営企画部 部長	
	松本 浩之	みなと観光バス株式会社 代表取締役	課員 新宮 朋透
	広森 正喜	兵庫県交通運輸産業労働組合協議会 阪神地域協議会 議長	
	水田 節男	公益社団法人兵庫県バス協会 専務理事	
	五十嵐 一俊	一般社団法人兵庫県タクシー協会 副会長	
	中村 幸一郎	国土交通省 近畿地方整備局 兵庫国道事務所 計画課 課長	欠席
	山口 一彦	兵庫県 阪神南県民センター 西宮土木事務所 道路第2課 課長	
	向井 宣彦	西宮市 土木局 道路部 部長	
	酒井 基和	兵庫県西宮警察署 交通第一課 課長	
	松田 翔吾	兵庫県甲子園警察署 交通課 課長	
	田橋 一	国土交通省 神戸運輸監理部 兵庫陸運部 輸送部門 首席運輸企画専門官	
	片田 一真	国土交通省 近畿運輸局 交通政策部 交通企画課 課長	
	崎谷 唯比古	国土交通省 近畿地方整備局 建政部 都市整備課 課長	課長補佐 佐々木 知之
作田 良文	兵庫県 県土整備部 県土企画局 交通政策課 課長	欠席	
古川 雅一	兵庫県 県土整備部 土木局 道路街路課 街路担当参事		
上野 史雄	西宮市 政策局 都市計画部 部長		

議事内容

議題

・議案第1号 西宮市都市交通計画の策定について

事務局より西宮市都市交通計画の策定について説明。

(議長) 御意見、御質問ございましたら、御発言をいただきたいと思ます。

(議長) 実施計画、実施施策の変更ということで、別紙3の12ページ、13ページに記載されていますが、例えば、現在の路線バスの状況を考えると、利用者が非常に減っています。減っている理由の一つ目は、テレワーク等が増え、通勤定期券を購入しない人が増えている可能性があることです。1人当たり1年間で250日くらい通勤されるとすると、利用回数は往復で500回になり、定期券利用者の減少は大きなダメージになると考えられます。定期券利用者などを増やし、少なくとも現在の利用者を維持していく活動を、モビリティマネジメントの一貫として行政と事業者が力を合わせるような取組を記載した方がいいと思ます。

また、西宮市だけで交通が完結するのではなく、神戸や大阪方面にも行く方が多いことを考えると、公共交通利用促進のため、兵庫県の阪神北県民局を中心に作成している「えきバスまっぷ」のような公共交通を知ってもらうためのパンフレット等を上手く活用できればいいと思ます。

(事務局) 記載内容について検討いたします。

(議長) 他に御意見、御質問はよろしいでしょうか。

(委員) 10ページの表1 サービスレベルの中の確保を目指すサービスレベル、これが公共交通を考える上で、根幹でとても重要と思ますが、このレベルに設定された経緯、背景があれば教えてください。

(事務局) 基本的には、表1の下に記載のとおり、現状のサービスレベルで足りているという発想から、ある程度現状のサービスレベルをベースに設定しております。例えば、鉄道の幹線は、1時間当たり5本以上としていますが、これも現状のサービスレベルを参考に設定しています。この設定により、鉄道はほとんどが幹線となっております。阪神武庫川線だけが1時間当たり5本未満のサービスレベルであることから、支線に設定しております。

目標の考え方としては、現状をベースにサービスレベルの維持を目指すという主旨です。

(委員) 事業者としても、現状維持を目指して、利用促進に努めてまいりたいと思ます。

(議長) ありがとうございます。他に御意見、御質問はよろしいでしょうか。

(委員) 現状維持を目指すということに関連してですが、今年度のダイヤ改正では、どの事業者

もコロナ禍が影響して減便されているところがあり注視する必要があると感じています。

議長がおっしゃったように、利用者は減っていきますが、公共交通は必要なものであり、地域の足としても欠かせないものであるということ、住民の方々により認識してもらう活動を行う必要があります。そうしなければ、次々に公共交通が無くなっていくのではないかと危惧しています。

(議長) 交通事業者から話を聞くと、対前年の8割ほど利用者が戻ってきていますが、100%戻っているというのはいずれも聞いておりません。需要に合わせて供給をしていくとなると、減便・廃止といった事態となりますので、我々としてできることは、需要を出来るだけ増やすことです。そのためには利用しやすい環境、安心して利用してもらうことなど、いろんな形での公共交通のアピールに、精力的に取り組むことが大切になると思いますが、何をやるのかは、もう少し議論して決めていけたらと思います。

(副議長) コロナの話は重要なので項目として記載されていると思いますが、利用者数が減っているという内容と同時に、エッセンシャルワーカーの位置付けについても入れていただけたらと思います。日本ではエッセンシャルワーカーとは主に病院関係者や保健関係者のことを指し、公共交通事業者が入っていません。ヨーロッパやアメリカは、エッセンシャルワーカーの中に、公共交通も含めた社会基盤を守るような人たちが含まれているため、日本でもそのような位置づけをしなければいけないと思います。

また、P. 11 図5の将来的な公共交通網のイメージは、イメージと言いながら、それぞれのバス路線が対応している感じがするため、「公共交通計画の文言を、路線ごとに落とし込む」という形になります」という形にしたほうが、分かりやすいと思います。

もう一点、SDGsについてですが、実施施策のそれぞれに、SDGsの1から17の項目の中から当てはまるものを全部振っていくようにすれば、市役所内部でも存在感が増すと思います。公共交通というのは単に、利用者の利便性を上げるだけではなく、いろんな方々の活動を担保するようなものであるという意味合いでいうと、いろんなところで関連してくると思いますので、市民向けと同時に、市役所内部にアピールするためにも、施策に項目付けできたらいいのではないかと思います。

(議長) ありがとうございます。ご指摘のP. 11 図5の将来的な公共交通網のイメージの部分ですが、「イメージ」という文言を落としても問題なければ、その方がしっくりくると思いますがどうでしょうか。ネットワークがこうなるということを示したいのであれば、「イメージ」まで書かなくていいという気がしました。御検討よろしく願いいたします。

他に御意見、御質問はよろしいでしょうか。

(委員) 8ページのところの課題として、甲陽園、苦楽園地域でのコミュニティ交通の導入というのが課題と書いてありますが、この辺りのお住まいの方には、一人に1台車がないと外出が困難な方も結構おられます。また、この辺りは高齢者の方が多く、交通事故の危険性が今後予想されると思っております。コミュニティ交通の導入は、ぐるっと生瀬の例のように地域の力がないと上手くいきませんので、事前に検討会みたいなものを作られて、進

めていただけたらと思っております。現在、公共交通の需要減ということで、問題になっておりますが、コロナによる外出抑制が国の方針でありましたので、難しいところもあったかと思いますが、その中で地域の力をもう一度掘り起こすチャンスになると思っていますので、力を入れて前向きにさせていただければ助かると思います。よろしく願いいたします。

(事務局) 現在、苦楽園、甲陽園、名塩と山口地域のほうで、ぐるっと生瀬と同じような形で、地域の皆様が主体となって、協議会、あるいは検討委員会を立ち上げられて、コミュニティ交通の検討を進めておられます。我々は、各地区の状況に応じて、適切な支援をさせてもらっているところです。

地元の皆様が、精力的に検討を進めておられまして、非常に思いが熱く、速やかに試験運行を実施したいとおっしゃられておりますが、コロナ禍というのもありますので、逆に市役所のほうがもう少し様子を見てはどうかという形になっております。

交通事業者のほうも慎重になっておりますが、交通事業者との調整の進度によって、先ほど申しましたとおり、コロナの収束状況にもよりますが、試験運行を早ければ令和3年度の後半期に行うことになるのではないかと、市として想定しています。

(議長) よろしいでしょうか。じっくり読まれたら、気になる点があるかもしれません。その点についてはまた事務局のほうに、御連絡いただければと思います。この内容で一旦は、皆様から確認いただいたということでよろしいでしょうか。

(全委員) 異議なし。

(議長) 議案第1号は原案のとおり承認されました。

議題

・議案第2号 令和3年度西宮市都市交通会議の事業計画及び当初予算について

事務局より令和3年度西宮市都市交通会議の事業計画及び当初予算について説明。

(議長) 御意見、御質問ございましたら、発言をお願いいたします。

(委員) 資料の4ページのところで、事業費について御説明いただきましたが、この都市交通計画策定業務を実施する予定のために、事業費を392万というのは、差し支えない範囲で、こういった内容になりますでしょうか。

(事務局) 議案第1号で都市交通計画の御説明をさせていただいたとおり、ある程度の文言、考案は事務局で作成していますが、その体裁の整理、会議運営の資料作成、パブリックコメントの資料作成等といった内容を予定しております。

(委員) 承知いたしました。ありがとうございます。

(議長) データの時点修正が結構あったと思いますが、そういうことは関係ないでしょうか。

(事務局) データの時点更新につきましては、第1編、第2編は、既にある程度できておりますので、第3編について、これから実施施策の内容などを御協議させていただき、内容を整理していく過程の補助、支援という形を予定しております。

(議長) ありがとうございます。ほかに御意見、御質問よろしいでしょうか。

これは運輸局の方に確認いただいたほうがいいかもしれませんが、資料の1ページ目の事業計画で、6月に地域公共交通確保維持改善事業のフィーダー補助申請に関わる計画の策定を予定していますが、まだ地域公共交通計画ができていない段階で、補助金の扱いはどのようになるのでしょうか。

(委員) 事前に兵庫陸運部に相談いただければと思います。

(議長) 実際現場でぐるっと生瀬の方々も活動されていますので、遅滞なくそういうことがつながっていければいいかと思っておりますので、どうぞよろしくをお願いいたします。他に、御意見、御質問はよろしいですか。

この内容については、皆様から御確認いただいたということでよろしいでしょうか。

(全委員) 異議なし。

(議長) 議案第2号は原案のとおり承認されました。

議題

・議案第3号 生瀬地区コミュニティ交通に係る事業計画の変更等について
事務局より生瀬地区コミュニティ交通に係る事業計画の変更等について説明。

(議長) 御質問、御意見ございましたら、御発言をお願いいたします。
御意見がなければ、この内容につきましても、皆様から御確認いただいたということでよろしいでしょうか。

(全委員) 異議なし。

(議長) 議案第3号は原案のとおり承認されました。

議題

・報告第1号 令和2年度さくらやまなみバス事業について

事務局より令和2年度さくらやまなみバス事業について説明。

- (議長) 御意見、御質問ございましたら、御発言をお願いいたします。
- 資料の1番目、下の図の収支状況の推移で、令和2年度の運行経費が1億5,600万となっており、ほかの年と比べても、経費そのものはあまり下がっていないにも関わらず、損失も少しの増に留まり、頑張っておられる印象を受けます。
- 先ほどエッセンシャルワーカーというお話が副議長からありましたが、人を運ぶために運行を続けている。それに対して、利用者と収入は大幅に下がっていない理由は何でしょうか。
- (事務局) 経費が若干下がっている理由につきましては、今年度は燃料単価が若干下がりましたので、それによって経費が下がっております。また、収入につきましては、今年度は新型コロナウイルスの影響による臨時交付金の交付や国庫補助の増額がありましたので、昨年度と比べて収入、利用者数は減少しますが、収入の割合はそこまで減少しないということになっております。
- (議長) そういったサポートがないと、もっと厳しい状況になっていたということですね。
- (委員) 高齢者の交通助成というところで、昨年度で高齢者交通助成券が一旦切られましたが、今年度からまたこの事業を応援するような仕組みはあるのでしょうか。バスを利用する機会を増やすような高齢者交通の助成があったように思うのですが、教えていただけますでしょうか。
- (事務局) 昨年度までは、西宮市で高齢者交通助成制度というバスや鉄道の利用料金の半額助成がありましたが、今年3月に廃止になります。新年度は、バスに限り、高齢者バス運賃助成として助成制度が残り、西宮市内の阪急バス、阪神バス、みなと観光バス、やまなみバス、コミュニティ交通のぐるっと生瀬はこれまでどおり申請していただく必要はありますが、半額助成という形で残ると聞いております。
- (委員) ありがとうございます。
- (議長) ほかに御意見、御質問よろしいでしょうか。
それでは、報告第1号については以上とさせていただきます。

議題

・報告第2号 阪急阪神HDによる西宮市域における都市型M a a Sの実証実験について

事務局より阪急阪神HDによる西宮市域における都市型M a a Sの実証実験について説明。

(議長) 御意見、御質問ございましたら、御発言をお願いいたします。

(委員) 事務局から御説明いただきましたとおり、阪急阪神ホールディングスでは初めてのM a a S実験になりますが、沿線の住人の方向けにM a a Sの効果を検証しようということで、商業系やエンタメ系の施設や公共交通事業者などを網羅するような形かつシェアサイクルや公共交通にこだわらず駐車料やカーシェアのサービスを連携させる形で、今回実験をさせていただくこととなりました。

(議長) ありがとうございます。他に御意見、御質問はよろしいでしょうか。

(副議長) とてもいい取組と思いますが、例えば「西宮市の博物館で展覧会を行っています」というようなプッシュ型の情報は提供されるのでしょうか。

(委員) 個別の情報としてどこまで出すかというのは要検討になりますが、各種イベントの紹介や情報等の変更があればプッシュ型に統一して通知することは考えております。

(副議長) 昔、能勢電鉄と協力して、卒論で行った実験があり、そのときには関連する市内や、宝塚のいろんな情報を、学生が毎日送るという非常にローテクノロジーなことを行うことによって外出頻度が1割くらい増えました。最初のうちは、近所のいろんな情報を出していましたが段々送るものが無くなり、京都の情報や桜が咲いた情報などいろいろな情報を次々に送りました。スマートな方法ではないですが、そのときに情報の提供は極めて重要だということを痛感しました。交通というのは派生需要ですから、お店や博物館や講演など、いろんな情報を提供しなければ、M a a Sというツールも難しいかなと思いますので、その辺りの連携を取っていただけたらいいと思います。

議長が最初おっしゃったように、とにかく外出頻度が落ちるとというのが、極めて厳しく、個人的には車であろうと何であろうと、とにかく外出してほしい。そうでなければ経済が回らず、街中の活気がなくなり、バーチャルなものに負けてしまうのではないと、少し焦燥感を感じているので、積極的に情報提供できるようなことを行っていただけたほうがいいと思います。ローテクノロジーでもいいと思います。

(委員) 御意見ありがとうございます。今のお話のようにプッシュ発信の実績もあり、御意見も頂いておりますので、その辺りも参考にしながら、あまり情報過多な発信になり過ぎないようにバランスも見ながら、今後考えてまいりたいと思います。

(議長) ありがとうございます。他に御意見、御質問はよろしいでしょうか。

(委員) このM a a Sの取組を本会議で初めて知りましたが、広報はどのようにされていますでしょうか。あと、7月末くらいに実証を終えられるということですが、そのアウトプットは、本会議で、何かしら提供していただけますでしょうか。

(委員) まず1点目の広報については、先ほど事務局からも説明がありましたとおり、3月10日にニュースリリースを出しております。新聞、記者クラブなどに情報提供しており、一部のニュース等では御紹介されています。ホームページも立ち上げております。しかし、今回の実験自体が、モニター向けの実証実験のため、大々的な広報までは考えておりません。また、今後アプリ公開のタイミングに合わせて、グループの広報誌等の中でも紹介する予定にはしております。

実証の検証結果の提供については、公開できる範囲の中で検討したいと思います。

(議長) ありがとうございます。M a a Sは二つ狙いがあり、一つはユーザーの人にストレスがないように移動の情報を提供したり、決済をできたりする。もう一つの狙いは、そういう活動をしてもらうことによって、人々の移動の履歴のデータを把握することができるということです。今までなかなか事業者間をまたいでデータを得ることは困難でしたが、そういうことが可能になってきます。1,000人のモニターの方の移動履歴は、次の利用促進等に活かす基本データにもなりますので、阪急阪神ホールディングスにて活用いただくことはすごくいいことだと思いますが、併せてこういった会議でも地域公共交通計画をよりいいものにするための材料とさせていただけるよう、できるだけ教えていただければ幸いです。

現在モニターサンプルは、どれくらい集まっていますか。

(委員) 鋭意募集をかけておりますが、千人を超えるのは間違いないです。

(議長) もし足らなければ、こういう会議で皆さんにお願いすれば、ユーザーが増えるような気もしますので、検討していただければと思います。

(委員) ありがとうございます。

(議長) 報告第2号は以上になりますが、他にご意見、ご質問よろしいでしょうか。それでは、報告第2号については以上とさせていただきます。